

事業所名	NTTグループケアポート岡山 (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成18年10月16日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、N-AHPA-2級、介護支援専門員 B:現職 高等学校非常勤講師 資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
岡山市の郊外に位置し、幹線道路が近くを走り交通の利便性が良い。宅地化が進む田園地帯の中にあり、周りには水田、背面には丘陵地が広がっており、広々としたロケーションである。 NTTの敷地を機能的に活用しており、1、2階に2ユニットがあり、デイサービス・居宅介護支援事業所が併設されている。各々の目的・特色が生かされ、多様な認知症高齢者に対応でき、入居者への接遇等においても質の高いケアを提供できている。 医療機関との協力関係については、複数の総合病院・近くの内科医院・歯科医院と提携しており、常時、入居者の急変に対応できる。また、日常の健康維持にも協力支援があり、入居者は安心してホーム生活が送れる。 スタッフルームのカウンターを低くしてスタッフルームからも共有空間を見守ることが可能で、入居者と職員のパリアを取り除くことで一体感が感じられ、いつも寄り添っているという信頼感と安心感を入居者に与える介護ができています。 開かれたグループホームを目指してフリーダイヤルを設置し、自由に気軽に電話での問い合わせや相談に応じ、職員一同地域サービスに努めている。 夜間と緊急時の対応に備えオープン時からユニット1名の夜勤に加え、深夜勤務1名を配置し、入居者の安全確保等に万全を期してきたが、昨年10月からは2ユニット目がオープンしたことに加え、スタッフの介護技術が向上したこと等により、本年10月6日より、通常の各ユニット1名の合計2名の夜勤体制で対応することとしたが、入居者の状況等によっては、深夜勤務1名をフレキシブルに配置する等、更なる安全確保に努めている。
特に改善の余地があると思われる点(記述)
改善点として特段指摘すべき点はない。 入居者・家族との関係は深く、その意向を積極的に取り入れて介護計画に生かすように配慮されている。「意見箱」を設置することが出来れば、さらに深く入居者・家族の意見・ニーズがくみ上げられ、運営方針にあるように「常に利用者の立場に立ったサービス」がより細かく実現できると期待する。 毎朝、すぐ側のお地蔵様参りや近くの公園までの散歩、週1回のドライブを兼ねた買物などに出かけている。いままじ入居者個人が自由に外出できる機械を増やすならば、より社会的で、潤いのある生活になると思う。周辺の交通事業、その他、環境条件を考慮しなければならないが、ボランティアの活用等何らかの工夫を期待したいと思う。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>“入居者の明るい笑顔がたくさんいただけるケア”を大目標として職員は入居者の人格尊重に努め、「スタッフ倫理綱領」を設けて日々努力している。</p> <p>家庭的な雰囲気の中で落ち着いた生活が出来る事を目指している。「共に支えあう」を理念として掲げ、心通まる接遇を心がけて接しており、それらは入居者の落ち着いた態度と笑顔の中にも表れている。</p> <p>入居者の社会性を大切に、新聞と一緒に読み、毎日のニュースやお知らせを語り合い、そこから話題を広げるようにして社会の出来事に常に心を抱いて精神を活性化し、引いては認知症の緩和・心身能力の維持に繋げている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような環境づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>入居者一人ひとりに担当者を決め、必要とされる人には医療経験者(看護師)を担当に加えて2人体制で対応している。入居者の個性・特長・体質(病歴等)をよく把握し、個性に合ったケアに取り組んでいる。</p> <p>BGMの流れるリビングは広く、テーブル・ソファ・畳コーナーと自由に居場所が確保できる。入居者がマイペースで過ごすことができ、孤独感を与えない落ち着いた場所作りをしている。</p> <p>職員は常に入居者と目線を合わせて物静かに丁寧に接遇し、入居者に信頼と安心感を与えるように努めている。</p> <p>入居者の精神的安定を目指し、アニマルセラピー・音楽療法・フラダンス・詩吟・芸芸と多彩なアクティビティを導入し、充実した日々の実現に向けて取り組んでいる。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>入居者個々の経験・能力を尊重している。ラッキョウ漬等の保存食作りや趣味等に自然と取り掛かれるようにし、ホーム生活を活性化するようにしている。</p> <p>個人の自立を目指し、入居者の生活リズムに合わせてさりげない介護を行うようにして、入居者の個性を尊重するよう心がけている。</p> <p>入居者の個人情報・記録類は事務室の鍵が掛かる場所に保管されている。また、個人に関わる事項の守秘義務を遵守するように徹底している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>報告書に成果・問題点・課題・個人の反応等項目別に記述して次のステップへ利用するようにし、介護サービスの質向上に努めている。</p> <p>同一敷地内の施設間で連絡・情報交換を密にし、特に衛生管理については直ちに協力・対応して入居者の健康と安全を守っている。</p> <p>事故・トラブル・ヒヤリハットが発生した場合、事故報告書に記載して発生原因を探り、対応策を話し合っている。事故報告書には責任者からの指示が書かれており、将来の事故・トラブル未然防止に努力している。</p>		